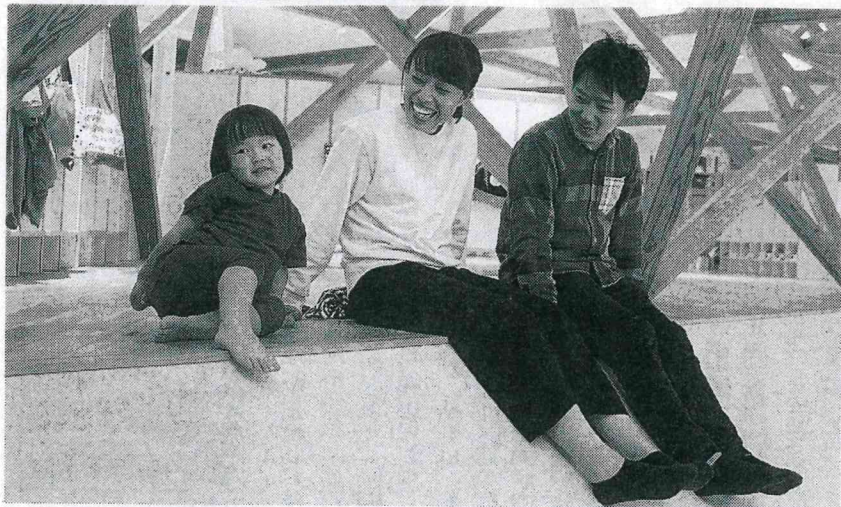


浦河での生活を楽しむ

浦河フレンド 東さん 家族が保育園留学

地方創生事業を手掛けるキッチハイク（本社・東京都）が、国の一時預かり事業一般型を活用して提供する暮らし体験型「保育園留学」で、東京都内の

森のようちえん留学（保育園留学）で浦河町での生活を体験した東さん家族



IT系企業に勤める子育て家族がこのほど浦河町厚沢部町で先進的な取りでリモートワークをしながらの生活を楽しんだ。

家族で地域を訪れ、自然や文化と触れあい、地域への特別な思い入れを育む事業で、地方創生、移住・二拠点居住に繋がる関係人口創出、子育て支援、企業誘致などの観点から注目されている浦河町区在住の共働き世帯、東

祐太郎さん（33）・奈緒子さん（32）夫妻と長女かれんちゃん（2）の家族3人。狹伏の移住体験住宅を拠点に、日中はアエルなどのワークスペースを利用してリモートワーク。長女のかれんちゃんは、浦河フレンド森のようちえんの広々とした園舎で同年代のお友達ともすぐに仲良くなり、のびのびと過ごした。

東さん家族は、働ながら、移住生活が可能な候補地を探していたが、「2歳の未就学児の一時受け入れが可能な地域は全国的にも少なかった」という。キッチハイクを通じて「森のようちえん留学」を実施している同園を知り、浦河滞在を決めた。

浦河の印象は「海があり山がありスケールが大きい。町の雰囲気も生き生きとしている。新しい

できる。在園児にとっても自然に多様性を学べることができ、地域にとっても良い刺激になる」と期待している。

浦河フレンド森のようちえんの伊原園長は「今後2組の留学が決まっております。ニーズは高い。自然豊かで、安全安心な環境。幼児教育がしっかりしていれば、制度を利用してリピートし、二拠点居住や移住にもつながり、町の活性化にも期待